



昭和二年四月三日

舞鶴上陸地連絡所長

各復殘務處理部復員業務課長殿

死歿者に關する件 通知（茅 號）

左記は、ガホトカより舞鶴に販還した各頭書の者の申告によるものである。

記

4105

申告書

申告者	所屬	東京通信隊 第1少尉	氏名	入籍地	年齢	性別	婚姻	職業	備考
	職階	少尉							
知得した職階執行方不明者、死亡者等ノ情况	昭和三年三月二日急生肺炎大ニ依リ 二月二日没命ス 遺留品ハ北東室兵曹長 (証アル中ニ其ノ地ニ) 保管シアリ 當時ノ作業ハ枕標作業ナリ								
死亡者	本 姓 吳 北東室機長								

注意
 (一) 本人ノ在籍地守府縣ニ別紙ヲ添付スル。
 (二) 情況記載ハ田舎レノ略圖ヲサケ加ヘルコト。

未处理者消息究明調書

吳地方復興業務處理部

調査区分	調査員	調査員	調査員
40	226		
354談		部隊	
上校		特等	
氏名		生年月日	
入籍		籍	
右同		留守	

家族親戚状況	歴				特校	學歷	年	月	日	記	事			
	家	族	其他	特相										
	其	他	其	他										
	其	他	其	他										
父	母	兄	妹	左官	國高一修	20.3.15	吳國入国	20.3.28	吳施	20.7.1	一校兵	20.7.1	上校兵	三五四談

1-A
2-A

72

七
考

みまの
失調の
考

分所
下
考

(列)

37-10

ア

舞援復ニ第ニ號ヲ二三

昭和四年十月十八日



舞鶴引揚援護局復員部第二復員課長

各地方復員殘務處理部復員業務課長殿

死没者に関する件、通知（等）（辨）

左記は「ナボトカ」より舞鶴に飯還した各頭書の署の申告によるものである
記

市 所 告 者 等 級 氏 名	市 所 告 者 等 級 氏 名	氏 名	飯	郷	先
水長	水長	上七			
石炭カラカ山と塩	事故死	圧死	死年月日	死場所	本籍地記事
2000					

舞復連第二師の六六

昭和二十二年四月十九日

舞鶴上陸地連絡所長

各復残務処理部 復員業務課長殿

死歿者に関する事件通知(米 辨)

左記は、小下力より舞鶴に返還した各頭書の者の申告によるものであります。

記

甲種首級氏名	乙種首級氏名	丙種首級氏名	丁種首級氏名	戊種首級氏名	己種首級氏名	庚種首級氏名	辛種首級氏名	壬種首級氏名	癸種首級氏名	甲種首級氏名	乙種首級氏名	丙種首級氏名	丁種首級氏名	戊種首級氏名	己種首級氏名	庚種首級氏名	辛種首級氏名	壬種首級氏名	癸種首級氏名
新東京農工	新東京農工	新東京農工	新東京農工	新東京農工	新東京農工	新東京農工	新東京農工	新東京農工	新東京農工	新東京農工	新東京農工	新東京農工	新東京農工	新東京農工	新東京農工	新東京農工	新東京農工	新東京農工	新東京農工
氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名
病死	病死	病死	病死	病死	病死	病死	病死	病死	病死	病死	病死	病死	病死	病死	病死	病死	病死	病死	病死
死因	死因	死因	死因	死因	死因	死因	死因	死因	死因	死因	死因	死因	死因	死因	死因	死因	死因	死因	死因
死時	死時	死時	死時	死時	死時	死時	死時	死時	死時	死時	死時	死時	死時	死時	死時	死時	死時	死時	死時
死所	死所	死所	死所	死所	死所	死所	死所	死所	死所	死所	死所	死所	死所	死所	死所	死所	死所	死所	死所
本籍	本籍	本籍	本籍	本籍	本籍	本籍	本籍	本籍	本籍	本籍	本籍	本籍	本籍	本籍	本籍	本籍	本籍	本籍	本籍
籍地	籍地	籍地	籍地	籍地	籍地	籍地	籍地	籍地	籍地	籍地	籍地	籍地	籍地	籍地	籍地	籍地	籍地	籍地	籍地
備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考

大日本帝國海軍
軍人現況不明者調書

軍人現況不明者調書

整理番號 26		所 稱今年月日		等級	氏名	生年月日	入籍番號	現 住 所
留守擔當者 (二〇一〇)		氏名		氏名	氏名	氏名	氏名	氏名
家族の承知してゐる情況		差出日附 部隊符號 受領年月日 検閲者印		提供年月日 情報提供者 同右現住所				
本人からの最後の通		20.7.7		22年2月				
信 宮崎縣		天山に行つた		21.3.4 病死				
内地出發年月日、場 所、乗船名(又は航 空機)行先		22年2月11日		21.3.4 病死				
部隊長から何か 通知があつたか		21.3.4		21.3.4 病死				

10K

26

佐 人 資 料 置	世 話 課 (科) 資 料 及 所 見	其の他究明上参考と なるべき事項	家族渡受領の情況及 取扱経理部	昭和二十一年八月一 日又は其の後に未復 員証を出したか 出してなければその 理由	歸還者から何か 通知があつたか 其の他のところ から何か通知が あつたか (右通知した人 の住所氏名)								
	昭和会は未だ												
		本人の消息をよく 知つてゐると思は れる者の住所氏名 其の他究明上参考 となるべき事項	<table border="1"> <tr> <th data-bbox="837 1153 965 1288"> ばら な 等 </th> <th data-bbox="965 1153 1157 1288"> 隊 員 の 其 の 推 定 </th> <th data-bbox="1157 1153 1348 1288"> 作 業 所 收 容 場 月 日 年 </th> <th data-bbox="1348 1153 1492 1288"> 行 方 不 明 者 の 其 の 推 定 </th> <th data-bbox="1492 1153 1572 1288"> ばら な 等 </th> </tr> <tr> <td data-bbox="837 1288 965 1960"></td> <td data-bbox="965 1288 1157 1960"></td> <td data-bbox="1157 1288 1348 1960"></td> <td data-bbox="1348 1288 1492 1960"></td> <td data-bbox="1492 1288 1572 1960"></td> </tr> </table>	ばら な 等	隊 員 の 其 の 推 定	作 業 所 收 容 場 月 日 年	行 方 不 明 者 の 其 の 推 定	ばら な 等					
ばら な 等	隊 員 の 其 の 推 定	作 業 所 收 容 場 月 日 年	行 方 不 明 者 の 其 の 推 定	ばら な 等									

一

熊本縣人吉中親前(田)の館内に書き
佐藤保正陸の陸知合とちうに台持り引揚る
に依教辭送せしむるなり

寫

✓ 1

君の最後の一端を涙と共に書き記す

まへりヤスウチヤンに於て 露軍経略の日軍患着收容所(病院)
「おいしめりやい」氣を確に持て大丈丈と云ふ 「や俺はもう駄目だ」
「そんな弱い事を言ふのは内地へ帰還するもの直ぐ頑強さ人々」
「留んではあせぬにたふのう」死んで俺は幸福だ、――
こうして櫻を花咲く春も侍で誰をうらむものもなく永遠に帰ら
ぬ旅路へ消えて行く戦友がまへりヤの雪を真赤に染めて今日も
一人二人

故郷の春を語り夏を思ひ出し秋を偲んで枕を並べて一意療養
に努めていた戦友 君もその中の一人として、不幸三月四日不祥
の客とせらふものだった

不祥

宮崎

收容所より梁働に従ふ中

病を得てこの病院へ遷

ゆふのけしき夜ミヤの寒気最も厳しい頃雪の日二月

10.2

二十七日、^{（イ）} 君も同じくこゝへ運ばれて来られた。
 君は肺炎を患へたが、安外元氣で病氣等を承けて
 夜半過ぎまで種々移り合つた。この
 當時病院は名田で、殊に戦勝國と威張つて、この國も
 物を持つる國として、吾は僅かの所持品等も、めづかしい品物
 は、鏡を突きつけて取上げられた。
 一、物論、藥品等も、僅少しか、無く設備も不完全といふよりは、
 並通の家といふ感じの中、各收容所（木材、炭、磁、工場）にて病
 を得はるに堪へられ、若くはこゝへ運ばれて来られた。結局
 自らの力、意志、志力により、病を良しにする一か方法はあり
 ます。一、病を治して、再び、日迄炭、磁の收容所にて最低の生活
 の生活を送る。生きる為だけの生活、食物をとり、吾々です。
 身体は衰弱して、殆んど、栄養失調に陥つて、いま、こゝへ病
 氣を患へた。これと、快復するは、色んな、異なる種々な手

るが、必要です。これも、出来ません。斯うして、重患者は、異なる土

監
記

身体は衰弱して殆んど果養失調に陥りて、
氣を失ひてこれを快復せざるは、色人なる莫からず種々

るが必要なり。これも出来ずん。斯うして重患者は、
と化していつたか。

君は三月三日 今日は内地のヒナ祭りだ。御馳走の敷きと、
餅や合ひなどり容態が衰ひて、傷の軍医殿へ着て載く
戦友が心配して種々手傳ふ。そうして夜間方軍医の
手厚い看護の甲斐も無く多くの戦友は看護られつゝ
永遠に暗を閉かられぬ。死ぬ日まで皆様の事を。話
すといふ。君を思へば、我々も悲しくなりぬ。かと思儀
が、いふ。自かゝりて。同じ運命を繰り返して、
お所。いふ。沢かき。今、内地へ帰る。か。出来ず。た。の。も
君が。あり。世から。下。さ。つ。た。め。ら。う。は。ひ。め。と。思。ひ。ま。す。
今、こゝに。貴家の。親類。の。傍。り。人。と。相。知。る。に。及。び。こゝ。二。三。日。で。こ
ゝを。送。り。ぬ。け。り。で。多。分。時。を。思。ひ。つ。つ。走。書。で。失。礼。な。ら。ぬ。君。の
最後。の。一。端。を。書。記。し。お。届。け。す。次。第。を。け。ず。

✓ 4

終戦當時より今日までの事をも具體的にお話しして頂きたいと思ひ
ながら事情が許す限り、家に落付次第、遂次くお話し
お話しなすて戴く心算です。今日は取敢へず以上にて
止めます。

皆々様の御健勝を祈りて 又



終

有類遊昇二族
六六

昭和二十二年五月二十八日

奔騰上陸地連綿所長

又地方復員局人事部長殿
閣下敬啟者查郵寄之世話錄長殿

所亡者以聞下并通知(第二子)

大抵は、その力により五月二十七日、耳鳴に悩まされ、永録丸を既還した各頭書者、
の申すよりしつて、ある。

記

軍人現況不明者調書

整理番號

76

留守擔當者

(所) 辭令年月日 轄

等級氏

名

生年月日

入籍番號

(現本)

住籍

(所地)

未

家族の承知してゐる情況

歸還者からの情報

差出日附

部隊符號

受領年月日

檢閲者印

本人からの最後の通

信

内容

内地出發年月日、場
所、乗船名(又は航
空機)行先

死七番

7125

(一) 部隊長から何か
通知があつたか

其

戦死 原因
年月日
場所

昭和三十一年三月初旬
營養失調症

同右現住所

情報提供者

提供年月日

部隊符號

等級氏

名

入籍番號

二十一年四月二十一日

4118

87

76

佐人資料 佐人資料	世話 質料及所見 世話 質料及所見	其の他究明上参考となるべき事項 其の他究明上参考となるべき事項	家族渡受領の情況及取扱経理部 家族渡受領の情況及取扱経理部	昭和二十一年八月一日又は其の後に未復員届を出したか出してなければその理由 昭和二十一年八月一日又は其の後に未復員届を出したか出してなければその理由	(一) 歸還者から何か通知があつたか (二) 其の他のどこから何か通知があつたか (右通知した人の住所氏名)
21.8.5-1800 アムステルダムで米兵乗船部大死七	家族が有罪となり、調査中、健康が回復した。	本人の消息をよく知つてゐると思はれる者の住所氏名	本人の消息をよく知つてゐると思はれる者の住所氏名	行方不明者、生者の場所、死亡の場所、推定	行方不明者、生者の場所、死亡の場所、推定
年 月	家族が有罪となり、調査中、健康が回復した。	本人の消息をよく知つてゐると思はれる者の住所氏名	本人の消息をよく知つてゐると思はれる者の住所氏名	行方不明者、生者の場所、死亡の場所、推定	行方不明者、生者の場所、死亡の場所、推定

4119

舞後連第 二掃り六九

昭和二十二年六月十一日

舞鶴上陸地連絡所長

各復殘務處理部 復員業務課長殿

死歿者に關する件通知（等 辨）

左記はサボト力より界鶴に販運した各頭書の者の申告によるものであり

遺骨護送者

[illegible]



拳籍地

死歿青
謝

現住所

浙商部隊

入園月日

等級

內地港務
年月日

外紀
月
日

勸發

年 月 日

德

6979
23
年2月11日

昭和二年正月

朝雲齋藏書

三、水、收、容、訂、於、農、抗、工、下、作、者、

子孫永昌

急經神矣

卷之八